

腎免疫血管内科

■小林 修三 副院長，腎臓病総合医療センター長，
医学博士

浜松医科大学 1980年卒業

浜松医科大学大学院 1986年卒業

日本内科学会評議員，日本フットケア学会理事長，

日本医工学治療学会理事，

日本下肢救済・足病学会理事・評議員，

日本腎臓学会評議員・指導医，

日本高血圧学会評議員・指導医（FJSH），

日本病態栄養学会評議員・専門医，

日本急性血液浄化学会理事・評議員，

日本透析医学会評議員・指導医，

日本腹膜透析学会評議員，

日本アフェレンス学会評議員 日本臨床ゲノム医療学会理事

■日高 寿美 血液浄化センター長，医学博士

浜松医科大学 1985年卒業

日本内科学会総合内科専門医，

日本腎臓学会評議員・指導医・専門医，

日本透析学会指導医・専門医，

日本フットケア学会理事・評議員，

日本病態栄養学会評議員・専門医，

日本アフェレンス学会認定血漿交換療法専門医，

日本急性血液浄化学会認定指導者，

日本医工学治療学会評議員

■大竹 剛靖 腎免疫血管内科主任部長，
医学博士

浜松医科大学 1987年卒業

日本腎臓学会評議員・指導医・専門医，

日本内科学会認定内科医，

日本透析医学会指導医・専門医，

日本フットケア学会理事・評議員，

日本下肢救済・足病学会評議員，

日本病態栄養学会評議員，

日本医工学治療学会評議員，

日本再生医療学会代議員

■守矢 英和 腎免疫血管内科部長

防衛医科大学校 1994年卒業

日本内科学会指導医・総合内科専門医，

日本腎臓学会指導医・専門医，

日本透析学会指導医・専門医，

日本高血圧学会専門医，

日本アフェレンス学会評議員・認定専門医，

日本フットケア学会評議員，

日本下肢救済・足病学会評議員

■岡 真知子 腎免疫血管内科医長

東海大学 2001年卒業

日本内科学会認定内科医，日本腎臓学会専門医，

日本透析学会専門医

■石岡 邦啓 腎免疫血管内科医長

札幌医科大学 2004年卒業

日本内科学会認定内科医

■持田 泰寛 腎免疫血管内科医長

北里大学 2005年卒業

日本内科学会認定内科医

■真栄里 恭子

琉球大学 1996年卒業

日本内科学会認定内科医

■長谷川 正宇

■松浦 亮

【診療】

<人事>

3月末で宮本雅仁血液浄化部医長と中島みなみ医師（後期研修医）が退職し，4月より松浦亮医師（東京大学医学部より）が後期研修医として加わった。

持田泰寛医師は6月より腎免疫血管内科医長に昇格し、10月より集中治療部医長に異動となった。また、堤大夢医師が体調不良により6月に退職となった。

<学業、研究活動>

2013年は腎臓内科にとって、2つの大きな学会を主催する記念すべき年となった。1つは日本医工学治療学会第29回学術大会で、小林修三副院長を大会長、大竹剛靖主任部長を事務局長として、パシフィコ横浜会議センターで4月19日から21日まで盛大に開催された。29回の学術大会を数える歴史ある学会で、1,000名を超える医師や臨床工学士の参加をいただいて盛会のうちに終了した。「医工で築く明るい未来～イノベーションの真の応用と精神の調和」をメインテーマとして、大会長講演「医工の恩恵と自分」、東京女子医科大学 心臓血管外科 山崎健二教授による大会記念講演「植え込み型補助人工心臓EVAHEARTの臨床治験と市販後成績」、渥美和彦東京大学名誉教授「これからの医療のあり方」、宮崎緑先生（千葉商科大学教授）の「医は文化なり」をはじめとして、イノベーションの歴史や未来、医工と精神の調和、4つのシンポジウム、10のワークショップ、一般演題などとても活発に行われた。徳洲会グループからは臨床工学士や医師による25の一般演題と、小田利通先生（大会記念特別企画講演者）、今田聡雄先生（教育講演演者）、水附裕子葉山ハートセンター看護部長、中山重雄看護師長（ワークショップ座長・演者）など多数のご講演・ご発表をいただき、同時に多くの当院職員の協力で学会運営を支えていただいた。

10月12日には、鎌倉プリンスホテルで第10回日本フットケア学会鎌倉セミナーが、小林修三副院長を大会長、日高寿美血液浄化部部長を事務局長として盛大に開催された。糖尿病患者や透析患者を含めて、

足病に対するフットケアの取り組みは年々盛んになってきていて、鎌倉セミナーでも参加者1,031人を数える多くの参加者が鎌倉に集まり、活発な質疑応答やフットケア実践教室などが開かれた。2つの大きな学会を主催するために、多大な時間と労力を要したが、ものを成し遂げた大きな達成感を得られた1年であった。

2013年は、石岡邦啓医長が第85回神奈川腎研究会で優秀演題賞を受賞した。

<診療>

学会の主催など多忙な1年であったが、診療実績は入院患者、外来患者とも例年と同じレベルを維持しつつ、腎炎、腎不全、多臓器不全、重症下肢虚血などの患者診療にあたった。さらに、腎移植診療も腎免疫血管内科の新たな診療領域として加わり、2012年12月の第1例目をスタートして、本年も移植外科と協力して腎移植患者の診療に携わった。

【展望】

来年も腎炎、腎不全、多臓器不全、重症下肢虚血、腎移植などの診療をさらに発展させ、同時に総合内科のサポート、関連施設での透析医療の推進、アメリカ透析医療支援をさらに推進して行きたい。

【診療実績】

2013年の年間入院患者数、外来患者数、腎生検施行内訳を以下に示す。

表1. 2011-2013年 診療実績データ

	2013年	2012年	2011年
新入院患者数	532人	569人	574人
延べ入院患者数	11,033人	11,025人	9,984人
延べ外来受診患者数	13,416人	13,153人	11,654人

表2. 2015年 腎生検施行内訳（年間 137件）

病理分類	症例数
メサンギウム増殖性腎炎	28
IgA腎症	(14)
Non-IgA腎症	(14)
糖尿病性腎症	10
膜性腎症	3
良性腎硬化症	1
巣状糸球体硬化症	2
半月体形成性腎炎	6
ループス腎炎	2
管内増殖性糸球体腎炎	2
尿細管間質性腎炎	7
膜性増殖性糸球体腎炎	1
悪性腎硬化症	3
コレステロール塞栓症	2
壊死性血管炎	2
cast nephropathy	2
硬化性糸球体腎炎	3
MGA	1
移植腎生検	20
合計	95

【発表を含めた2013年1年間の業績】

(1) 特別講演

- 1) 小林修三：透析・糖尿病患者における足病変～早期発見と治療戦略～. 岐阜フットケアセミナー, 岐阜, 2013.
- 2) 小林修三：慢性腎臓病・糖尿病における心血管障害～病態と治療戦略～. 第1回糖尿病と血管障害研究会, 鹿児島, 2013.
- 3) 小林修三：透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症～早期発見と治療戦略～. 東区CKD病診連

携セミナー, 札幌, 2013.

- 4) 小林修三：教育セッションⅢ「透析症例の循環器疾患管理up to date」. 第227回日本循環器学会 関東甲信越地方会, 東京, 2013.
- 5) 小林修三：大会長講演 医工の恩恵. 日本医工学治療学会 第29回学術大会, 横浜, 2013.
- 6) 小林修三：透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症～早期発見と治療戦略～. 第9回京滋糖尿病フットケア研究会, 京都, 2013.
- 7) 小林修三：血压管理における薬物療法. 第59回兵庫県透析医会総会, 神戸, 2013.
- 8) 小林修三：透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症～早期発見と治療戦略～. 第16回三河糖尿病透析懇話会, 岡崎, 2013.
- 9) 愛甲美穂：透析現場におけるフットケア. 第58回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー54, 福岡, 2013.
- 10) 小林修三：透析患者の末梢動脈疾患～早期発見と治療戦略～. 第6回広島実践フットケア研究会第3回講演会, 広島, 2013.
- 11) 小林修三：慢性腎臓病における心血管障害と石灰化-炭酸ランタンの効果-. CKD Management Conference, 静岡, 2013.
- 12) 小林修三：透析患者における足病変～早期発見と治療戦略～. 第11回ネフロサマーフォーラム, 岡山, 2013.
- 13) 小林修三：透析患者の下肢閉塞性動脈硬化-早期発見と治療戦略. 第81回大阪透析研究会, 大阪, 2013.
- 14) 日高寿美, 小林修三：分かりやすい血液浄化セミナー2 抗凝固法の基礎と実際. 第24回日本急性血液浄化学会学術集会, 札幌, 2013.
- 15) 小林修三：CKDにおける心血管障害～石灰化とP管理～. 高リン血症と血管障害を考える会～保

存期CKDのミネラル管理～，群馬，2013

- 16) 小林修三：透析患者の末梢動脈疾患～早期発見と治療戦略～．第6回広島実践フットケア研究会第3回講演会，広島，2013.
- 17) 小林修三：透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症～早期発見と治療戦略～．第24回静岡臨床MMC研究会，静岡，2013.
- 18) 大竹剛靖：足は全身の鏡～どうやって守る？透析患者の足病変～．第10回日本フットケア学会鎌倉セミナー，鎌倉，2013.
- 19) 守矢英和：透析患者における末梢動脈疾患の特徴と治療戦略．第10回日本フットケア学会 鎌倉セミナー，鎌倉，2013.
- 20) 日高寿美：ランチョンセミナー2 透析患者の末梢動脈疾患～栄養状態の重要性と透析室での治療戦略～．日本医工学治療学会第29回学術集会，横浜，2013.
- 21) 日高寿美：ランチョンセミナー12-2 透析患者における動脈硬化メカニズム～処方としての透析膜の可能性～．日本医工学治療学会第29回学術集会，横浜，2013.
- 22) 小林修三：透析・糖尿病患者における足病変～早期発見と治療戦略～．八戸フットケアセミナー，八戸，2013.
- 23) Kobayashi S：Treatment strategies for PAD in CKD patients:its characteristics and importance of early detection ～From J-PADD Study.5th. Asian PAD Workshop Jeju, Korea, 2013.
- 24) 日高寿美：腹膜透析の合併症とその対策．湘南鎌倉CAPDの会 夏季学習会，鎌倉，2013.
- 25) 小林修三：糖尿病・透析患者における心血管障害．第3回出雲糖尿病性腎症研究会，出雲，2013.
- 26) 小林修三：透析患者における下肢閉塞性動脈硬化症～早期発見と治療戦略～．第22回北摂腎不

全カンファレンス，高槻，2013.

- 27) 愛甲美穂：透析室におけるフットケアの実際．第22回北摂腎不全カンファレンス，高槻，2013.
 - 28) 大竹剛靖：慢性腎臓病における心血管障害と石灰化～炭酸ランタンの効果～．CKD Management Conference，横浜，2013.
 - 29) 小林修三：透析患者の末梢動脈疾患～早期発見と治療戦略～．第84回北海道透析療法学会学術大会，札幌，2013.
 - 30) 小林修三：CKDにおける心血管障害～石灰化とリン管理～．静岡県東部CKD-MBD学術講演会，三島，2013.
 - 31) 小林修三：CKDにおける心血管障害～石灰化とリン管理～．岡山 CKD Risk Management Forum，岡山，2013.
 - 32) 小林修三：CKDにおける心血管障害～石灰化とリン管理～CKD Management Conference，札幌，2013.
 - 33) 大竹剛靖：再生医療に対する取り組み～腎免疫血管内科 シンポジウム「再生医療の現状と未来」～より早い臨床への応用を目指して．鎌倉，2013.
- (2) シンポジウム・ワークショップ
- 1) 日高寿美：シンポジウム2 どんなチームで誰にフットケアを提供しますか？～腎臓内科が提供するフットケアに外来について～．第11回日本フットケア学会・第5回日本下肢救済・足病学会合同学術集会，横浜，2013.
 - 2) 石岡邦啓：シンポジウム7「足病患者の診療実態 私たちは何をすべきか？」「糖尿病透析患者の足病の現状と問題点」．第11回日本フットケア学会・第5回日本下肢救済・足病学会 合同学術集会，横浜，2013.
 - 3) 石岡邦啓：シンポジウム3「アフエレーシスの応

用と課題」 「LDLアフェレシスの多彩な応用」.

第29回日本医工学治療学会学術大会, 横浜, 2013.

- 4) 持田泰寛: シンポジウム3 糖尿病・透析患者の下肢感染症～診断と治療～. 第10回日本フットケア学会鎌倉セミナー, 鎌倉, 2013.
- 5) 大竹剛靖: スポンサーシップシンポジウム CLI患者の生存率と救肢率の較差をいかに縮めるか. 第10回日本フットケア学会 鎌倉セミナー, 鎌倉, 2013.
- 6) 高橋聖子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: スポンサーセッション 心臓血管外科における栄養管理の重要性. 日本医工学治療学会第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 7) 日高寿美, 小林修三: シンポジウム2 透析膜由来の生体適合性～血小板活性化の面から～. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 8) 小林修三, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美: シンポジウム8 血圧異常. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 9) 小林修三: シンポジウム9 血圧管理～保存期慢性腎臓病の病態を踏まえて～. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 10) 守矢英和, 小林修三: シンポジウム3 腎疾患治療におけるLDLアフェレシスの多面的作用. 第34回日本アフェレシス学会学術大会, 長野, 2013.
- 11) Kobayashi S: Dorner opening dinner symposium “Theme: Why & What for PAD”. Bangkok Thailand, 2013.
- 12) 小林修三: 発展途上国への透析医療支援～アフリカ・アジアの光と影. 第6回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.

(3) 国際学会

- 1) Miyamoto M, Sueki S, Matsui K, Tsuruoka K, Sakurada T, Moriya H, Hidaka S, Ohtake T, Sato

Y, Shibagaki Y, Yasuda T, Kobayashi S, Kimura K: Evaluation of the risk factors that affect repeated access failure after vascular access intervention therapy. 33rd Annual conference on dialysis USA, Seattle, 2013.

- 2) Hidaka S, Ishioka K, Moriya H, Ohtake T, Kobayashi S: The Longitudinal change of corrected mid-Arm muscle area predicts mortality in hemodialysis patients. American society of nephrology, Atlanta, 2013.

(4) 国内学会

- 1) 仲鉢英夫, 久保田聡, 日高寿美: ロミプロスチム (Romiplostim) を2週間に1回投与で有効性と安全性が示唆された一例. 日本医療薬学会第23回年会, 仙台, 2013.
- 2) 石岡邦啓, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三: 持続血糖モニター (CGM) による維持透析患者の血糖管理指標の検討. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 3) 佐藤淑, 和足孝之, 魚嶋晴紀, 堤大夢, 北川泉, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 皮膚疾患「集学的治療を用いて救命し得た重傷中毒性表皮壊死症の一例」. 日本医工学治療学会 第29回学術大会, 横浜, 2013.
- 4) 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 石岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: ステロイド投与とLDL吸着療法の併用により腎機能の改善を認めた腎コレステロール塞栓症 (CCE) の2例. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 5) 岩上将夫, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子,

- 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三: LDLアフェレシスがCalciphylaxisに著効を示した症例の報告. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 6) 守矢英和, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 腹膜透析患者に合併したCIDPに免疫吸着療法が著効した一例. 第24回日本急性血液浄化学会学術集会, 札幌, 2013.
- 7) 谷川徹也, 近藤晃, 青松昭徳, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: 急性リチウム中毒患者6例の検討. 第599回関東地方会, 東京, 2013.
- 8) 熊谷知博, 十倉満, 菅波由有, 北川泉, 小林修三: 腹痛を主訴に来院した細菌性髄膜炎の1例. 第599回関東地方会, 東京, 2013.
- 9) 石岡邦啓: フットケア! 基本の検査をよく知ろう「SPP (Skin perfusion pressure: 皮膚灌流圧)». 第10回日本フットケア学会 鎌倉セミナー, 鎌倉, 2013.
- 10) 愛甲美穂: ケースカンファレンス 下肢切断を拒否している患者に対して 症例提示①ナラティブアプローチをしながら下肢切断に至った症例. 第10回日本フットケア学会 鎌倉セミナー, 鎌倉, 2013.
- 11) 山口絵美, 須釜典子, 野澤葉子, 秋吉美穂, 高田佳奈, 下地葉月, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三: 腹膜透析 (PD) 患者における生体電気インピーダンス分析 (BIA) を用いた栄養評価~PD液貯留の影響の検討~. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 12) 高橋聖子, 若林奈々, 軽野知子, 西井美樹子, 塩野恵美子, 望月弘彦, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 経腸栄養用ポンプ使用の有用性. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 13) 種山かよ子, 小川美悠, 和泉雅絵, 高室昌司, 宮本雅仁, 日高寿美: JMS社製透析用コンソールGC-110N使用下における脱血不良と抗凝固薬シリンジへの血液逆流の関連. 日本医工学治療学会 第29回学術集会, 横浜, 2013.
- 14) 石岡邦啓, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三: 維持血液透析患者における足病変と下肢末梢動脈疾患 (PAD) との関連. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 15) 小林修三, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 石岡邦啓, 真栄里恭子, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖: 透析患者のかゆみと心血管障害並びに脳血流との関係. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 16) 持田泰寛, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 腹膜炎を呈した腹膜透析 (Peritoneal dialysis; PD) 患者の排液培養方法の検討. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 17) 日高寿美, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 大竹剛靖, 小林修三: LDLアフェレシス (LDL-A) は慢性腎臓病合併下肢末梢動脈疾患 (PAD) 患者の血管内皮前駆細胞 (EPCs) を増加させる. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 18) 宮本雅仁, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三, 佐々木彰, 内田大介, 鈴木智, 小板橋賢一郎, 野村篤史, 西脇宏樹: 血液培養陽性の血液透析 (HD) 患者における死亡寄与因子の他

- 施設検討. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 19) 守矢英和, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 血液透析前後の血漿アルドステロン濃度の変化と予後との関連. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 20) 真栄里恭子, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 血液透析 (HD) 患者における血清亜鉛 (Zn) と骨との関連. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.
- 21) 大竹剛靖, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 石岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 小林修三: 血液透析患者の下肢動脈石灰化下肢切断・心血管死亡との関連. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013.
- 22) 愛甲美穂, 山下昭二, 石岡邦啓, 日高寿美, 小林修三: 維持血液透析 (HD) 患者に対する末梢動脈疾患 (PAD) リスク分類ケアプログラム (CP) の有用性について. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013.
- 23) 堤大夢, 長谷川正宇, 中島みなみ, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 腹膜透析患者の体液コントロールにトルバプタンが効果を示した一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013.
- 24) 中島みなみ, 長谷川正宇, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 糖尿病性ケトアシドーシス (DKA) を呈した無尿の維持透析患者の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013.
- 25) 長谷川正宇, 徳本直彦, 三宅克典, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 術前HDF及び生体腎移植にて著明な心機能改善が得られた血液透析患者の一例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013.
- 26) 三宅克典, 徳本直彦, 長谷川正宇, 宮本雅仁, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 湘南鎌倉総合病院におけるABO不適合生体腎移植の1例. 第58回日本透析医学会学術集会・総会, 福岡, 2013.
- 27) 日高寿美, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 大竹剛靖, 小林修三: 血液透析患者において上腕筋面積 (AMA) の変化は予後を予測する因子である. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 28) 真栄里恭子, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 血液透析患者の経頭蓋エコー所見と生命予後についての検討. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 29) 持田泰寛, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 感染後糸球体腎炎による臨床病理学的検討. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 30) 守矢英和, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁,

- 岡真知子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 血中NGALは早期CKD患者の予後予測因子となりうるか. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 31) 石岡邦啓, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 大竹剛靖, 小林修三: 腎生検にて診断された糖尿病性腎症の予後予測因子としてFibrinogenが重要である. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 32) 大竹剛靖, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 小林修三: 血液透析患者の下肢動脈石灰化進展に与えるリン吸着薬の影響〜炭酸ランタンの効果. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 33) 中島みなみ, 長谷川正宇, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 当院における悪性高血圧の腎予後予測因子. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 34) 堤大夢, 長谷川正宇, 中島みなみ, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 宮本雅仁, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: CKD患者でのTolvaptanと増加尿量の関連因子の検討. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 35) 宮本雅仁, 長谷川正宇, 中島みなみ, 堤大夢, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 腹膜透析における日中最大注液量と腹壁ヘルニア発症の関連. 第56回日本腎臓学会学術総会, 東京, 2013.
- 36) 真栄里恭子, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 石岡邦啓, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 高ホモシステイン (Hcy) 血症に対しビタミン剤投薬後, 脳血流の改善を認めた血液透析患者の1例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2013.
- 37) 長谷川正宇, 松浦亮, 堤大夢, 持田泰寛, 石岡邦啓, 真栄里恭子, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 抗リン脂質抗体症候群 (APS) による血栓性微小血管障害 (TMA) を呈したネフローゼ症候群の1例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2013.
- 38) 守矢英和, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 難聴を初発症状とし, 尿細管間質病変を主体とした腎機能正常ANCA関連血管炎の1例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2013.
- 39) 松浦亮, 日高寿美, 長谷川正宇, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 大竹剛靖, 小林修三: 心房中隔欠損症 (ASD) を合併した髄質嚢胞性腎疾患 (MCKD) の一例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2013.
- 40) 石岡邦啓, 松浦亮, 長谷川正宇, 堤大夢, 持田泰寛, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 腹膜透析導入後に診断されたdouble negative ANCA 関連血管炎の一例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2013.
- 41) 持田泰寛, 松浦亮, 長谷川正宇, 堤大夢, 石岡邦啓, 真栄里恭子, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 紫斑病性腎炎とクリオグロブリン血症性腎炎を合併した1例. 第43回日本腎臓学会東部学術大会, 東京, 2013.
- 42) 守矢英和, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 真栄里恭子, 日高寿美,

大竹剛靖, 小林修三: 腹膜透析患者の心拡張に与える因子の検討. 第19回日本腹膜透析学会学術集会・総会, 大阪, 2013.

- 43) 堤大夢, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 透析患者における脾腫と血小板減少に関する検討. 第110回日本内科学会総会, 東京, 2013.

(5) 研究会発表

- 1) 堤大夢, 長谷川正宇, 中島みなみ, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 宮本雅仁, 岡真知子, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三: 腹膜透析患者の心拡張能に影響を与える因子の検討. 第27回神奈川県CAPD研究会, 横浜, 2013.
- 2) 長谷川正宇: 神経調整性失神と3度房室ブロックによる血圧変動にて腎機能障害をきたした一例. 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
- 3) 堤大夢: 甲状腺クリーゼ, 心肺停止蘇生後に伴う多臓器不全に対し血漿交換が奏功した一例. 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
- 4) 日高寿美: サルボグレラートはPADを有する血液透析患者において皮膚還流圧 (SPP) を上昇させる. 第3回「血管障害とセロトニン」フォーラム, 東京, 2013.
- 5) 守矢英和: 尿所見異常から診断に至ったANCA関連全身性血管炎の一例. 第9回CKD Conference in Kamakura, 鎌倉, 2013.
- 6) 石岡邦啓, 長谷川正宇, 堤大夢, 持田泰寛, 宮本雅仁, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三: 2型糖尿病合併血液透析患者におけるビルダグリプチン投与による血糖改善効果. 第85回神奈川腎研究会 総会・研究集会, 横浜, 2013.

7) 大竹剛靖: 透析患者の動脈硬化性合併症～血管石灰化の抑制は可能か? 第2回神奈川腎・透析研究会, 横浜, 2013.

- 8) 持田泰寛, 松浦亮, 長谷川正宇, 石岡邦啓, 岡真知子, 真江里恭子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 感染後糸球体腎炎の臨床病理学的検討. 第17回腎間質障害研究会, 東京, 2013.
- 9) 石岡邦啓, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 真栄里恭子, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: Fanconi症候群, 腎尿細管間質性腎炎を呈した κ 型 Bence Jones蛋白尿症の一例. 第60回神奈川腎炎研究会, 横浜, 2013.
- 10) 守矢英和, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: LDLアフェレシスが著効したCalciophylaxis合併血液透析患者の一例. 第32回神奈川高血圧と腎カンファレンス, 横浜, 2013.
- 11) 真栄里恭子, 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 血液透析 (HD) 患者における血清亜鉛 (Zn) と骨に関する検討. 第32回腎と骨代謝研究会 学術集会, 東京, 2013.
- 12) 松浦亮, 長谷川正宇, 持田泰寛, 真栄里恭子, 石岡邦啓, 岡真知子, 守矢英和, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三: 急性前骨髄性白血病を呈した高齢維持透析患者の一例. 第86回神奈川腎研究会, 横浜, 2013.
- 13) 長谷川正宇: 術前HDF及び生体腎移植にて著大な心機能改善が得られた血液透析患者の1例. 第6回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
- 14) 石岡邦啓: 持続血糖モニター (CGM) による維持血液透析患者の血糖管理指標の検討. 第6回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.

- 15) 松浦亮：心房中隔欠損症との関連が疑われた髄質のう胞腎の1例. 第8回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
- 16) 持田泰寛：腰椎硬膜外膿瘍感染後にネフローゼ症候群をきたした1例. 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
- 17) 岡真知子：透析患者における冠動脈石灰化と透析前重炭酸濃度の関係. 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
- 18) 松浦亮：急性前骨髄性白血病を合併した高齢維持透析患者の1例. 第10回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
- 19) 松浦亮：RA治療中に不明熱と間質性肺炎をきたした維持透析患者の1例. 第11回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
- (6) 座長・司会・開会の辞
1. 小林修三：コメンテーター PAD・フットケアワークショップ 第81回和歌山透析研究会総会・腎不全看護セミナー PAD・フットケアワークショップ, 和歌山, 2013.
 2. 小林修三：座長 特別講演 神奈川カルニチンカンファレンス エルカルニチンFF静注発売記念, 横浜, 2013.
 3. 大竹剛靖：Opening remarks 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
 4. 宮本雅仁：コメンテーター 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
 5. 中島みなみ：座長 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
 6. 持田泰寛：座長 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
 7. 日高寿美：座長 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
 8. 小林修三：Closing Remarks 第5回SK腎セミナー, 湘南鎌倉総合病院 講堂, 2013.
 9. 小林修三：座長 特別講演2 第81回和歌山透析研究会総会・腎不全看護セミナー PAD・フットケア ワークショップ, 和歌山, 2013.
 10. 小林修三：開会挨拶 Tolvaptan Conference, 横浜, 2013.
 11. 小林修三：座長 特別講演 第9回CKD Conference in Kamakura, 鎌倉, 2013.
 12. 小林修三：座長 特別講演 第7回末梢循環セミナー, 横浜, 2013.
 13. 大竹剛靖：座長 特別講演 第6回CKD&DM SUMMER SEMINAR in Kamakura, 鎌倉, 2013.
 14. 日高寿美：透析患者のフットケアと創傷治療. 第58回日本透析医学会学術集会・総会 ランチョンセミナー54, 福岡, 2013.
 15. 小林修三：司会 第24回日本急性血液浄化学会学術集会 シンポジウム1, 札幌, 2013.
 16. 日高寿美：司会 学術講演会 ～腎周辺疾患セミナー～ 特別講演, 横浜, 2013.
 17. 小林修三：司会 第32回神奈川高血圧と腎カンファレンス, 横浜, 2013.
 18. 小林修三：司会 招請特別講演1 日本医工学治療学会 第29回学術大会, 横浜, 2013.
 19. 小林修三：座長 ランチョンセミナー2 日本医工学治療学会 第29回学術大会, 横浜, 2013.
 20. 小林修三：座長 招請特別講演4 日本医工学治療学会 第29回学術大会, 横浜, 2013.
 21. 日高寿美：座長 教育講演4 日本医工学治療学会 第29回学術大会, 横浜, 2013.
 22. 小林修三：座長 第10回日本フットケア学会 鎌倉フットセミナー ランチョンセミナー1, 鎌倉, 2013.
 23. 小林修三：座長 第10回日本フットケア学会 鎌倉フットセミナー セミナー特別企画, 鎌倉,

- 2013.
24. 守矢英和：座長 第10回日本フットケア学会 鎌倉フットセミナー フットケア！基本の検査をよく知ろう。鎌倉，2013.
 25. 日高寿美：座長 第10回日本フットケア学会 鎌倉セミナー ケースカンファレンス，鎌倉，2013.
 26. 小林修三：司会 ワークショップ7 第58回日本透析医学会学術集会・総会，福岡，2013.
 27. 大竹剛靖：司会 教育講演6 第58回日本透析医学会学術集会・総会，福岡，2013.
 28. 小林修三：司会 ランチョンセミナー47 第58回日本透析医学会学術集会・総会，福岡，2013.
 29. 小林修三：司会 特別企画2 よくわかるシリーズ9 第56回日本腎臓学会学術総会，福岡，2013.
 30. 小林修三：座長 Session2 心腎連関研究会，横浜，2013.
 31. 日高寿美：司会 一般演題② 学術講演会～腎周辺疾患セミナー～，横浜，2013.
 32. 日高寿美：司会 一般演題（口演） 血液透析 第43回日本腎臓学会東部学術大会，東京，2013.
 33. 大竹剛靖：司会 一般演題（ポスター発表） 第43回日本腎臓学会東部学術大会，東京，2013.
 34. 日高寿美：司会 特別講演 学術講演会 ～腎周辺疾患セミナー～，横浜，2013.
 35. 小林修三：座長 ランチョンセミナー6 第16回日本腎不全看護学会学術集会・総会 第3回アジア腎不全看護シンポジウム，横浜，2013.
 36. 小林修三：座長 講演1 シンポジウム「再生医療の現状と未来」～より早い臨床への応用を目指して～。鎌倉，2013.
 37. 大竹剛靖：座長 講演3 シンポジウム「再生医療の現状と未来」～より早い臨床への応用を目指して～。鎌倉，2013.
 38. 小林修三：座長 特別招聘講演 シンポジウム「再生医療の現状と未来」～より早い臨床への応用を目指して～。鎌倉，2013.
 39. 小林修三：司会 総合討論 シンポジウム「再生医療の現状と未来」～より早い臨床への応用を目指して～。鎌倉，2013.
 40. 小林修三：閉会のことば シンポジウム「再生医療の現状と未来」～より早い臨床への応用を目指して～。鎌倉，2013.
 41. 守矢英和：開会の言葉 第6回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 42. 徳本直彦：座長 症例検討1 第6回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 43. 持田泰寛：座長 症例検討2 第6回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 44. 日高寿美：座長 特別講演 第6回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 45. 大竹剛靖：閉会の言葉 第6回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 46. 大竹剛靖：開会の言葉 第7回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 47. 三宅克典：座長 講演1 第7回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 48. 守矢英和：座長 講演2 第7回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 49. 日高寿美：座長 講演3 第7回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 50. 徳本直彦：座長 特別講演 第7回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 51. 小林修三：閉会の言葉 第7回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 52. 大竹剛靖：開会の言葉 第8回SK腎セミナー，鎌倉，2013.
 53. 石岡邦啓：座長 症例検討 第8回SK腎セミナー，

- 鎌倉, 2013.
54. 守矢英和:座長 基調講演 第8回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 55. 日高寿美:座長 特別講演 第8回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 56. 小林修三:閉会の言葉 第8回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 57. 守矢英和:開会の言葉 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 58. 石岡邦啓:座長 一般演題1 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 59. 大竹剛靖:座長 一般演題2 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 60. 日高寿美:座長 特別講演 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 61. 小林修三:閉会の言葉 第9回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 62. 大竹剛靖:開会の言葉 第10回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 63. 日高寿美:座長 症例報告 第10回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 64. 守矢英和:座長 特別講演 第10回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 65. 小林修三:閉会の言葉 第10回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 66. 大竹剛靖:開会の言葉 第11回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 67. 守矢英和:座長 一般演題 第11回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 68. 日高寿美:座長 特別講演 第11回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.
 69. 小林修三:閉会の言葉 第11回SK腎セミナー, 鎌倉, 2013.

(7) ディスカッション・ワークショップ

1. 小林修三, 一色玲, 真栄里恭子:ワークショップ7 透析患者の脳血流~SPECTを用いた検討を中心に~. 第58回日本透析医学会学術集会, 福岡, 2013.

(8) 総説

1. 日高寿美, 小林修三:14 LDLアフェレシス療法 臨床腎臓内科学 南山堂:184-195. 2013.
2. 日高寿美, 小林修三:15 その他の血液浄化療法 臨床腎臓内科学 南山堂:196-203.2013.
3. 持田泰寛:腎性貧血, 代謝性アシドーシス, 糖尿病末梢動脈疾患 透析ケア2013 Vol.19 no.2 メディカ出版:37-44. 2013.
4. 小林修三:糖尿病, 透析患者さんのフットケア, 別冊がんサポート 実践 ストップ!糖尿病・腎臓病 エビデンス社:68-71. 2013.
5. 大竹剛靖:腎教室 家族ぐるみで腎臓病を知ってもらおうことが大切, 別冊がんサポート 実践 ストップ!糖尿病・腎臓病:エビデンス社:28-30. 2013.
6. 守矢英和, 小林修三:8 透析患者の高血圧:高血圧発症機序とDW設定, 透析スタッフ2013 Vol.1 No.1 医学出版:71-78. 2013.
7. 守矢英和, 小林修三:透析患者に対する薬の使い方一対処療法 血圧上昇・血圧低下, 腎と透析 Vol.74 増刊号 東京医学社:378-381. 2013.
8. 守矢英和, 小林修三:透析患者に対する薬の使い方一疾患別・病態別[循環器], 腎と透析 Vol.74 増刊号 東京医学社:467-469. 2013.
9. 守矢英和, 小林修三:第7章 画像診断・腫瘍マーカー・感染症, その他 3頸動脈エコー(IMTを含む), 透析患者の検査値の読み方 改訂3版 日本メディカルセンター:338-340. 2013.
10. 高橋聖子, 日高寿美, 小林修三:特集 透析患

- 者の栄養障害とNSTの可能性 V規模別NST活動の展開 (6) 各種特殊な病態を有する患者 C. 壊疽 臨床透析 Vol.29 no.8 日本メディカルセンター : 1263-1270. 2013.
11. 大竹剛靖, 小林修三 : 連載 1から学ぶ閉塞性動脈硬化症 (ASO) No.7 ASOスクリーニング (5) 透析内科医の立場から 血栓と循環 Vol.21 No.2 Aug.2013 メディカルレビュー社 : 56-57. 2013.
 12. 小林修三 : 高血圧, 糖尿病の人は要注意 透析とPAD (末梢動脈疾患) 季刊 ドクターズアイ Doctors eye vol.30 株式会社ジャパンライフデザインシステムズ : 35-40. 2013.
 13. 高橋聖子, 若林奈々, 喜多村由香, 西井美樹子, 塩野恵美子, 田村佳菜子, 三浦由紀子, 日高寿美, 大竹剛靖, 小林修三 : あなたならどう考える? -NSTの現場から 急性大動脈解離術後, 全身状態悪化・腎機能悪化を生じたが経腸栄養から経口栄養へ移行できた一症例 臨床栄養 Vol.123 No.2 2013 : 8203-206. 2013.
 14. 小林修三 : 血液浄化法 今日の治療指針 私はこう治療している TODAY'S THERAPY 2013 医学書院 : 536-537. 2013.
 15. 守矢英和, 小林修三 : CKDセミナー 一般実地診療における画像検査からみたCKDの診療のすすめかた Medical Practice vol.30 no.11 2013 文光堂 : 1889-1892. 2013.
 16. 石岡邦啓, 小林修三 : 徳洲 透析患者の末梢動脈疾患 1 診断 透析フロンティア Vol.23 No.4 (No.107) 2013 FUSO : 2-5. 2013.
 17. 小林修三 : 大会長講演 医工の恩恵 医工学治療 Vol.25 No.3 2013 : 175-178. 2013.
 18. 大竹剛靖, 石岡邦啓, 小林修三 : 6 動脈硬化 透析ケア 写真でクイズでみるみるわかる! 透析療法ぜんぶマスター 2013冬期増刊号 メディカ出版 : 292-295. 2013.
- (8) 原著
1. 石岡邦啓, 古谷玲, 岩上将夫, 堤大夢, 持田泰寛, 岡真知子, 真栄里恭子, 守矢英和, 大竹剛靖, 日高寿美, 小林修三 : 2型糖尿病合併血液透析患者におけるビルダグリプチン投与による血糖改善効果 透析会誌 46 (1) : 103-110. 2013.
 2. 小林修三 : 下肢閉塞性動脈硬化症に対するLDLアフェレシス 日本アフェレシス学会雑誌 32 巻 1号 : 58-61. 2013.
 3. Hidaka S, Kobayashi S, Iwagami M, Isshiki R, Tsutsumi D, Mochida Y, Ishioka K, Oka M, Maesato K, Moriya H, Ohtake T. : Sarpogrelate hydrochloride, a Selective 5-HT2A receptor antagonist, improves skin perfusion pressure of the lower extremities in hemodialysis patients with peripheral arterial disease. Ren Fail. 2013 ; 35(1) : 43-48. 2013.
 4. Ohtake T, Kobayashi S, Oka M, Isshiki R, Iwagami M, Tsutsumi D, Mochida Y, Maesato K, Ishioka K, Moriya H, Hidaka S. : Lanthanum carbonate delays progression of coronary artery calcification compared with calcium-based phosphate binders in patients on hemodialysis: a pilot study. J Cardiovasc Pharmacol Ther. : 439-446. 2013.
 5. 小林修三 : 透析患者における心血管障害と石灰化～炭酸ランタンの効果～ 東北腎不全研究会誌 Vol.23 :51-61.2013
 6. 大浦武彦, 小林修三 : PAD (末梢動脈疾患) /CLI (重症下肢虚血) に関する透析患者および7診療科医師への診療実態調査—適切な早期診断・治療による下肢切断回避を目指して 診断と治療 vol.101 no.9 : 1401-1411. 診断と治療社 2013.
 7. 北川泉, 菅波由有, 大竹剛靖, 堂本佳典, 吉岡和

- 博, 和足孝之: 臨床セミナー 微熱の持続と浮腫の精査で紹介受診 セミナー: 不明熱へのアプローチ 日経メディカル Nikkei Medical 9 2013 : 83-88. 2013.
8. Ohtake T, Sato M, Nakazawa R, Kondoh M, Miyaji T, Moriya H, Hidaka S, Kobayashi S. : Randomized pilot trial between prostaglandin I2 analog and Anti-Platelet Drugs on Peripheral Arterial Disease in Hemodialysis Patients Therapeutic Apheresis and Dialysis. 2013.
9. 日高寿美, 小林修三: 特集1 透析膜由来の生体適合性～血小板活性化の面から～ 医工学治療 Vol.25 No.3 2013 : 215-218. 2013.
10. Sanaka T, Mochizuki T, Kinugasa E, Kusano E, Ohwada S, Kuno T, Kojima K, Kobayashi S, Satoh M, Shimada N, Nakao K, Nakazawa R, Nishimura H, Noiri E, Shigematsu T, Tomo T, Maeda T, and VEESA Study Group : Randomized controlled open-label trial of vitamin E-bonded polysulfone dialyzer and erythropoiesis-stimulating agent response. Clin J Am Soc Nephrol. 8 : 969-978. 2013.
11. Oshikawa J, Toya Y, Morita S, Taguri M, Hanaoka K, Hasegawa T, Kaizu K, Kamata K, Kobayashi S, Ohtake T, Sato T, Yasuda G, Kimura K, Umemura S. : Angiotensin receptor blocker (ARB)-diuretic versus ARB-calcium channel blocker combination therapy for hypertension uncontrolled by ARB monotherapy. Clin Exp Hypertens. : 1-7. 2013.
12. Moriya H, Konbayashi S, Ohtake T, Tutumi D, Mochida Y, Ishioka K, Oka M, Maesato K, Hidaka S, Nomura S. : Aliskiren, a direct renin inhibitor, improves vascular endothelial function in patients on hemodialysis independent of antihypertensive effect ~a pilot study~. Kidney Blood Press Res. : 190-198. 2013.
13. 大竹剛靖: 腎・透析ガイド～学術セミナーレポート～第2回神奈川腎・透析研究会 一般演題 透析患者の動脈硬化性合併症～血管石灰化の抑制は可能か? 医薬の門 Vol.53 No.6 2013 : 24-26. 2013.